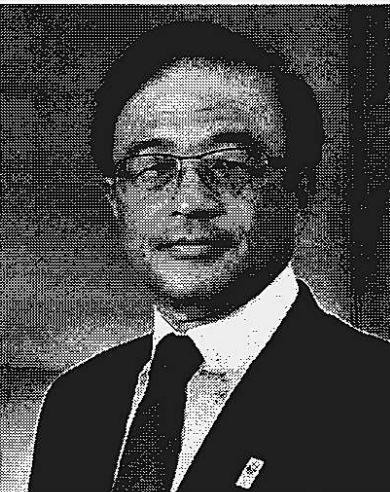


全国万引犯罪防止機構理事長

竹花 豊

万引防止船「マンボ一号」は未踏の大陸にたどり着けるか?

明けましておめでとうございます。今年も、へこたれず、あきらめずに、万引対策を推進しますので、よろしくお願ひします。



さて、昨年3月に開催した「万引対策強化国際会議2017」は、盛会のうちに終了し、参加者全員によつて、「万引対策強化宣言」が採択されました。アメリカからお越しされたロスプリベンションの専門家たちと、その要点は、万引きによるロスの防止は企業の経営責任であり、重要課題であることから、万引対策は警察任せにせず、自分たちでできることはある。商売上は競争関係にあっても、万引対策に関しては共同で対処するという基本方針が確立されいることです。

そこから、警察の捜査権に頼るほかない組織的万引犯罪については捜査がしやすいように、被害者側で情報を収集、整理して警察に提供する、また、万引犯に対する小額の損害賠償責任を追及しやすいやうな法律を策定してもらいう、あるいは、「万引対策強化宣言」という羅針盤を得て、昨年6月の総会以降、あたかも未踏の大陸を目指すパイオニア等の力を借りながら、船のようだ、大海に漕ぎ出しました。燃料も乗組員も不十分なことです。この会議が開催されることは重々承知の上です

る頃、一部の小売店舗で、万引犯の顔写真をウェブなどで公開したことなどが議論を呼んでいましたが、他に方法がないといふ店舗側の切羽詰った状況を、同業の被害者が情報を持ち寄つて、ともに対策を含め本の作成から販売に闖入するすべての方々が一体となって、万引対策本部を設置し、当機構と協働して様々なプロジェクトを始めました。同じ地域の書店同士が、万引きの被害や犯人の情報を提供しあう取組みです。ドラッグストアでも、事業者の枠を超えて、情報提供し合う取組みが一段と加速されてきています。

また、万引犯に対する再犯防止教育にも新たな対策が具体化してきました。アメリカで進めている防止教育のテキストを参考にしながら、日本版の教育ビデオの策定に、当機構を中心に取り掛かっています。

ところで、昨年9月に広島で開催されたアジアの警備業の国際会議でも話させていただ

るのか、何とがしないとそこで、内部不正を含め、何がそれぞれの業界でロスの内容となつてくられるのが実情です。

また、万引犯に対する犯罪防止教育を、部外の学者等の力を借りながら、船のようだ、大海に漕ぎ出しました。燃料も乗組員も不十分なことです。高齢者の万引きが増加している中で、それに対する対策として有力なものになると考えています。

今年は、このような新たな取組みが着実に広がっていくようになる力で取り組みたいと思います。

ただ、出航したばかりのマンボー号は馬力が足らないのが実情です。推進力強化の決め手は、社会全体が万引の解決にどうて不可欠なことです。

全国万引犯罪防止機構がこれまで以上に緊密に連携していくことには、わが国の万引問題の解決にとって不可欠なことがあります。

皆さんとわたしたちの被害の総額、業界との内訳、代表的な事例が一体となって、万引対策だけではなく、経営責任者が本気になってくれないのが実情です。

小売店がかわいそうだと」と思ってもらえば、社会全体の支援が得られるというものです。

そのフローの風がマントボー号を一気に前進させるのです。

ところで、昨年9月に広島で開催されたアジアの警備業の国際会議でも話させていただ

るのか、何とがしないとそこで、内部不正を含め、何がそれぞれの業界でロスの内容となつてくられるのが実情です。